モヒカン族の最後（1920）

THE LAST OF THE MOHICANS

メディア 映画
ジャンル 歴史劇
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 70分
初公開日 1921/08
公開情報 劇場公開

【解説】

９２年の「ラスト・オブ・モヒカン」のタイトルでもお馴染みのＪ・Ｆ・クーパーの開拓小説を扱ったサイレント映画の名作。

英仏双方で大規模な植民地戦争が続いていた１７５７年のアメリカ。フランス軍に荷担するヒューロン族のために滅亡寸前に追い込まれたモヒカン族の酋長サーペントは部族存続のためイギリス軍と手を組む。折からのフランス軍の侵攻を告げるためサーペントは息子アンカスをエドワード要塞に走らせる。そこで彼は前線の父に会うべく訪米していたマンロー大佐の娘コーラと妹アリスに出会う。大佐のもとに向かう援軍に同行することになったコーラ姉妹は案内役のマグアというインディアンに導かれるまま軍を離れ抜け道へ入るが、マグアが姿を消したため道に迷ってしまった。実は彼はヒューロン族の長でイギリス軍を混乱させるために潜伏していたのだった。途方に暮れた一行とたまたま出会ったアンカスたちはそのまま彼女たちと同行することになる。その最中でコーラとアンカスはやがて人種を越えた愛情に目覚めていく。だが一行を待ち受けていたのはマグアの陰謀に率いられたヒューロン族の襲来だった……。

開拓時代の挿話に材をとったこの映画は物語の雄大さもさることながら何と言っても映像の美しさが圧巻で、アルバムの一枚一枚をそのまま切り取ったようなリリシズム溢れるセピア色の画面は見ているうちに思わずため息がこぼれてしまう。

【クレジット】

監督	モーリス・トゥールヌール	Maurice Tourneur
	クラレンス・ブラウン	Clarence Brown
原作	ジェームズ・フェニモア・クーパー	James Fenimore Cooper
脚本	ロバート・Ａ・ディロン	
撮影	フィリップ・Ｒ・デュボス	Philip R. Du Bois
	チャールズ・ヴァン・エンジャー	Charles Van Enger
出演	ウォーレス・ビアリー	Wallace Beery
	バーバラ・ベッドフォード	Barbara Bedford
	ヘンリー・ウッドワード	
	ボリス・カーロフ	Boris Karloff

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.